



# 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 川崎近海汽船株式会社

上場取引所 東

コード番号 9179 URL <http://www.kawakin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井繁礼

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 高田雅彦

TEL 03-3592-5829

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,955	3.7	159	—	185	—	152	△22.5
25年3月期第1四半期	10,565	2.9	△146	—	△211	—	197	△37.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 465百万円 (203.2%) 25年3月期第1四半期 153百万円 (△44.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.20	—
25年3月期第1四半期	6.71	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	44,880	22,118	49.3
25年3月期	44,995	21,769	48.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 22,117百万円 25年3月期 21,769百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,800	2.1	800	△16.1	700	△17.9	400	△49.0	13.62
通期	43,500	2.4	1,750	△0.7	1,600	△2.8	1,000	△6.7	34.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	29,525,000 株	25年3月期	29,525,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	165,764 株	25年3月期	165,764 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	29,359,236 株	25年3月期1Q	29,359,445 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)におけるわが国経済は、政府による経済対策等により、景気の回復基調が見られたものの、企業の設備投資や個人消費の回復は限定的で、先行きは引き続き不透明な状況となっています。

海運業界を取り巻く環境は、米国を始め一部に底堅さが見られるなど、世界経済全体としては緩やかな回復基調が続いたものの、一方で船腹の供給圧力の強い状態が継続し、厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社の第1四半期連結累計期間の売上高は109億55百万円となり前年同期に比べて3.7%の増収となりました。営業損益は前年同期1億46百万円の損失に対し、当四半期は1億59百万円の利益、経常損益は前年同期2億円11百万円の損失に対し、当四半期は1億85百万円の利益となりました。特別利益を30百万円、特別損失を32百万円計上した結果、四半期純利益は1億52百万円となり前年同期比22.5%の減益となりました。

事業のセグメント別業績概況は次の通りです。

#### 「近海部門」

バルク輸送では、石炭・ドロマイト等の年度契約により安定輸送量を確保しました。木材輸送では、復興需要等で輸入合板の輸送量は前年同期を上回りましたが、チップ輸送では、市況の低迷が続きました。鋼材・雑貨輸送では、航路再編によりタイ向けの輸送量は増加しましたが、海峡地向けは減少しました。

同部門の売上高は40億97百万円となり前年同期に比べて0.6%の増収となりました。また、営業損失は前年同期2億30百万円から93百万円改善し1億37百万円となりました。

#### 「内航部門」

不定期船輸送では、石灰石専用船及び石炭専用船は安定的に稼働しました。小型貨物船は緩やかな回復基調の市況下、順調に稼働しました。定期船輸送では、常陸那珂/苫小牧間に代替投入した新造船の効果により輸送量は増加しました。フェリー輸送では、入渠により航海数は減少したものの、積極的な集客活動により便当りの輸送量は増加しました。

同部門の売上高は68億40百万円となり前年同期に比べて5.7%の増収となりました。また、営業利益は2億87百万円となり236.6%の増益となりました。

#### 「その他事業部門」

当事業の主なものとしては、北海道地区における不動産賃貸業などがありますが、同部門の売上高は17百万円となり前年同期に比べて7.5%の減収となりました。また、営業損益は前年同期1百万円の損失に対し、当四半期は9百万円の利益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億14百万円減少し448億80百万円となりました。流動資産は短期貸付金の増加などにより9億68百万円増加し118億31百万円となりました。固定資産は船舶の減価償却などにより10億83百万円減少し330億49百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ4億63百万円減少し227億62百万円となりました。流動負債は営業未払金の増加などにより6億24百万円増加し83億18百万円となり、固定負債は長期借入金の返済などにより10億87百万円減少し144億43百万円となりました。

純資産は土地再評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ3億48百万円増加し221億18百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月8日の発表から変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

一部の船舶の耐用年数について、長期貨物運送契約の契約期間が延長されたことを契機に、経済的使用可能予測期間(変更後の契約期間)に変更しております。

この変更により、従来の耐用年数によった場合に比べ、売上原価における減価償却費が30百万円減少し、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	768,978	860,935
受取手形及び営業未収入金	5,255,768	5,335,534
原材料及び貯蔵品	971,233	943,671
繰延税金資産	63,398	167,305
短期貸付金	2,286,000	3,358,000
未収還付法人税等	102,809	25
その他	1,420,782	1,171,908
貸倒引当金	△5,700	△5,900
流動資産合計	10,863,270	11,831,480
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	30,655,596	29,228,412
建物及び構築物(純額)	449,722	420,350
土地	1,051,895	1,041,577
建設仮勘定	433,430	691,563
その他(純額)	55,724	58,411
有形固定資産合計	32,646,368	31,440,316
無形固定資産	106,162	122,834
投資その他の資産		
投資有価証券	656,218	707,842
長期貸付金	150,624	146,276
繰延税金資産	63,151	71,957
再評価に係る繰延税金資産	—	30,549
敷金及び保証金	187,627	187,446
その他	343,389	363,214
貸倒引当金	△20,964	△20,964
投資その他の資産合計	1,380,047	1,486,321
固定資産合計	34,132,577	33,049,472
資産合計	44,995,848	44,880,953

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,262,546	3,559,591
短期借入金	2,975,415	2,859,845
未払法人税等	16,706	95,858
賞与引当金	173,295	100,654
役員賞与引当金	42,000	10,500
災害損失引当金	1,523	1,523
その他	1,222,905	1,690,966
流動負債合計	7,694,392	8,318,939
固定負債		
長期借入金	13,611,650	12,916,068
繰延税金負債	1,084,367	871,079
再評価に係る繰延税金負債	77,645	—
退職給付引当金	133,612	143,466
役員退職慰労引当金	388,288	234,524
特別修繕引当金	236,067	278,658
固定負債合計	15,531,631	14,443,797
負債合計	23,226,024	22,762,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,248,849	1,248,849
利益剰余金	18,636,341	18,393,651
自己株式	△27,505	△27,505
株主資本合計	22,226,334	21,983,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,568	170,192
繰延ヘッジ損益	—	125
土地再評価差額金	△588,700	△38,607
為替換算調整勘定	△1,669	2,469
その他の包括利益累計額合計	△456,802	134,180
少数株主持分	291	390
純資産合計	21,769,823	22,118,216
負債純資産合計	44,995,848	44,880,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,565,556	10,955,643
売上原価	9,754,071	9,912,269
売上総利益	811,485	1,043,374
販売費及び一般管理費	958,356	884,158
営業利益又は営業損失(△)	△146,871	159,215
営業外収益		
受取利息	3,348	3,382
受取配当金	7,615	29,293
為替差益	—	28,759
その他	4,389	18,383
営業外収益合計	15,354	79,819
営業外費用		
支払利息	45,588	44,864
為替差損	23,881	—
その他	10,465	8,618
営業外費用合計	79,935	53,483
経常利益又は経常損失(△)	△211,452	185,551
特別利益		
固定資産売却益	548,792	30,644
特別利益合計	548,792	30,644
特別損失		
減損損失	—	32,561
投資有価証券評価損	30,916	—
特別損失合計	30,916	32,561
税金等調整前四半期純利益	306,424	183,635
法人税、住民税及び事業税	246,892	199,427
法人税等調整額	△137,630	△168,592
法人税等合計	109,261	30,834
少数株主損益調整前四半期純利益	197,162	152,800
少数株主利益	125	98
四半期純利益	197,036	152,701



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	197,162	152,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,320	36,624
繰延ヘッジ損益	1,316	125
土地再評価差額金	—	272,139
為替換算調整勘定	4,503	4,139
その他の包括利益合計	△43,501	313,028
四半期包括利益	153,661	465,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,535	465,730
少数株主に係る四半期包括利益	125	98

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,074,672	6,471,582	19,301	10,565,556	—	10,565,556
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,074,672	6,471,582	19,301	10,565,556	—	10,565,556
セグメント利益又は損失(△)	△230,916	85,335	△1,290	△146,871	—	△146,871

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△146,871
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△146,871

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,097,183	6,840,611	17,848	10,955,643	—	10,955,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,097,183	6,840,611	17,848	10,955,643	—	10,955,643
セグメント利益又は損失(△)	△137,296	287,233	9,278	159,215	—	159,215

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	159,215
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業利益	159,215

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更に記載のとおり、一部の船舶の耐用年数について、長期貨物運送契約の契約期間が延長されたことを契機に、経済的使用可能予測期間(変更後の契約期間)に変更しております。

当該変更により、従来の耐用年数によった場合に比べて、当第1四半期連結累計期間の「内航部門」のセグメント利益が30,032千円増加しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門 (注)	計			
減損損失	—	—	32,561	32,561	—	—	32,561

(注) 売却予定資産に係るものであります。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。